

波人増える中雨

2/7
赤松

東京・新宿 街宣行動

戦争法案止めよう 人ごとでない 声上げる

東京都新宿区の歩行者天国で6日、行われた「安全保障関連法案に反対する学生と若者による街頭宣
伝行動」。途中から雨が強まる中でも多くの人が聴衆に加わりました。参加者の思いを聞きました。



「戦争反対」「のち守れ」と戦争法案に抗議の声をあげる人たちが6日、東京都新宿区

スタート前には、始まる30分以上前から多くの人がつめかけました。

妻と参加した桜庭寿樹さん(35) 川崎市 関係のない戦争に闘わなければならない。戦争で一番、善き添えを食うのは女性と子どもたち。戦争法案は廃案しかない」と語ります。

桜庭さんが着るTシャツは、シリアの内戦で負傷した幼い子どもたちの写真をプリントしたものです。「法案とシリアのことが重なってしまふ。ラインプが好きだが、それと同じくシリアが日常になっただけ」

降ったりあんだりの雨に濡らされた髪は、途中から、本格的な雨になりました。それでも、歩行者天国に広がる聴衆の輪はさらに広がっていきました。

デパート前から、夫婦で楽しげに行動を見守っていた女性(65)

東京都杉並区 新宿には行動のため後回しです。若者の目覚めがうれしくて、彼らの翼を、よく考えられた行動で、楽しい。希望を感じるし、これからが日本にとって新たなスタートになると思う」といいます。

買い物袋二つを持って聞き入っていた会社員の男性(27) 江戸川区 買い物中にたまたま遭遇してはじめて参加しました。

「仕事が大してない、考える機会がなかったけど、今日、見て聞いてみて、自分にとっての、きっかけになりたくなった。一過性で終わらない動きだと思っし、人ごとでない、自分たちも声を上げなくては」と話します。